

長崎新聞広告賞で最優秀賞(公告主部門)を受賞!!

長崎新聞広告賞 最優秀賞(公告主部門)に、本会の「私たちのコラム(長崎新聞：平成18年8月30日(水)掲載)」が選ばれました(応募総数：300件超)。

平成19年11月1日(木) 長崎新聞 掲載

長崎新聞広告賞 表彰式

「活字」の意義再確認

新たな文化に期待の声

三十一日、長崎市内で開かれた長崎新聞広告賞の表彰式や作品披露パーティーでは活字メディアの意義を再認識し、新たな広告文化の創造を目指す声が相次いだ。

最優秀賞は、▽公告主部門⇨県建設業協会(題「私たちのコラム。」)と、制作者のアド長崎新聞▽代理店企画部門⇨創見(題「夏あそび」)▽一般公募部門⇨「残した」もの①②(課題社⇨県、長崎から世界遺産を)制作者の川口みゆきさん。表彰式で原研哉・審査

委員長(日本デザインセンター代表取締役)は「一得る手段で、高度化する一般部門が良かった。新聞余地がある。三百件を超える応募にふさわしい審査結果が出た」と講評。パーティーでは、植松俊徳(長崎商工会議所副会長)が「今後も努力され、長崎の文化の向上に寄与してほしい」と述べた。



作品披露パーティーで新聞広告の意義を確認した出席者
=長崎新聞文化ホール・アストピア

「広告の反」 隆三会長は 協会の谷村 県建設業 協会の谷村 隆三会長は 「広告の反」

響が良かった。代理店に感謝したい」、「創見の早田利充会長は「読者に分かりやすい広告を目指した。認められたい」、川口さんは「周囲の人々のおかげで受賞できた。賞を励みに頑張りたい」と話した。